

桐生市公共下水道事業変更計画書（境野処理区）

公共下水道管理者 桐 生 市  
工事着手の年月日 昭和 34 年 10 月 1 日  
令和 6 年 3 月 31 日  
工事完成の予定年月日 令和 8 年 3 月 31 日

(第1表の1)

予 定 処 理 区 域 調 書			
処理区域の面積	約 1,426 ヘクタール	処理区域内の地名	群馬県桐生市 「区域は下水道計画 一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位：ヘクタール)	摘 要	
境野処理区	1,426	計画下水量 29,300 日最大量 流入水質 26,900 m <sup>3</sup> /日 200 BOD 160mg/ℓ 150 S S 130mg/ℓ	

(第1表の2)

予 定 排 水 区 域 調 書			
処理区域の面積	約 885 ヘクタール	処理区域内の地名	群馬県桐生市 「区域は下水道計画 一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位：ヘクタール)	摘 要	
宮本排水区	19	変更なし	
山手排水区	34	〃	
仲通排水区	16	〃	
西部排水区 第一分区	24	〃	
西部排水区 第三分区	34	〃	
境野排水区	229	〃	
梅田排水区	239	〃	
菱排水区	155	〃	
細田排水区	135	〃	

(第3表の1)

吐 口 調 書 (汚水)							
処理区又は排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号又は名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m <sup>3</sup> /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位	摘要
境野処理区	処理施設	境野下水処理場 放流渠	境野町 三丁目	晴天時 日最大 0.339 0.311	渡良瀬川	L. W. L Y. P. 52.150	渡良瀬川 低水量 7.75 m <sup>3</sup> /s

※放流先の水位：水文水質データベースの「葉鹿橋」令和4年観測値を設定。零点高 Y.P.51.750m+低水位 0.40m

(第3表の2)

吐 口 調 書 (雨水)							
処理区又は排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号 又は名称	主要な吐口 の位置	計画放流量 (m <sup>3</sup> /sec)	放流先 の名称	放流先 の水位 (Y. P)	摘要
境野処理区(宮本)	合流式雨水吐室	1	宮本町二丁目	0.808	蟹川幹線	—	— スクリーン 設置
境野処理区(山手)	〃	2	末広町	3.707	蟹川幹線	—	
境野処理区(中央)	〃	3	仲町三丁目	0.698	新川	—	
境野処理区(仲通)	〃	4	東六丁目	3.189	新川	—	
境野処理区(桐生川)	〃	5	東七丁目	0.581	新川	—	
境野処理区(西部)	〃	6	宮前町二丁目	3.529	蟹川幹線	—	
境野処理区(西部)	〃	7	巴町二丁目	2.475	新川	—	
境野処理区(西部)	〃	8	巴町二丁目	0.854	新川	—	
境野処理区(新川)	〃	9	川岸町	0.837	新川	—	
境野処理区(南部)	〃	10	浜松町一丁目	3.860	新川	—	
境野処理区(南部)	〃	11	三吉町二丁目	3.271	渡良瀬川	H. W. L 105.265	
境野処理区	〃	12	境野町三丁目	—	境野第9 雨水幹線	—	
境野処理区	〃	13	境野町三丁目	—	境野第9 雨水幹線	—	
境野排水区	分流式 境野第9雨水幹線	12 14	境野町三丁目	14.849	渡良瀬川	H. W. L 88.435	— 樋門樋管の 目視・点検 を1回/年 実施
境野排水区	分流式 境野第1雨水幹線	13 15	境野町七丁目	13.614	桐生川	H. W. L 75.090	
境野排水区	分流式 境野第7雨水幹線	14 16	境野町五丁目	2.696	桐生川	H. W. L 85.711	
境野排水区	分流式 境野第6雨水幹線	15 17	境野町七丁目	3.792	桐生川	H. W. L 77.939	
境野排水区	分流式 —	16 18	足利市小俣町	0.924	一般河川	—	
境野排水区	分流式 境野第8雨水幹線	17 19	境野町五丁目	2.003	桐生川	H. W. L 87.691	
細田排水区	分流式 細田第1雨水幹線	18 20	菱町一丁目	12.446	桐生川	H. W. L 84.797	
細田排水区	分流式 細田第3雨水幹線	19 21	菱町一丁目	1.837	小友川	H. W. L 111.400	

## 吐口調書(雨水)

処理区又は排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量(m <sup>3</sup> /sec)	放流先の名称	放流先の水位(Y.P)	摘要
細田排水区	分流式 細田第4雨水幹線	20 22	菱町一丁目	2.012	小友川	H.W.L 117.620	
細田排水区	分流式 細田第6雨水幹線	21 23	菱町二丁目	1.671	黒川	H.W.L 130.460	
細田排水区	分流式 細田第5雨水幹線	22 24	菱町一丁目	3.037	桐生川	H.W.L 94.292	
菱排水区	分流式 菱第1雨水幹線	23 25	菱町三丁目	2.397	桐生川	H.W.L 103.700	
菱排水区	分流式 菱第2雨水幹線	24 26	菱町三丁目	6.174	黒川	H.W.L 106.310	
菱排水区	分流式 菱第3雨水幹線	25 27	菱町三丁目	3.348	黒川	H.W.L 112.890	
菱排水区	分流式 菱第4雨水幹線	26 28	菱町三丁目	4.598	桐生川	H.W.L 111.169	
菱排水区	分流式 菱第5雨水幹線	27 29	菱町四丁目	2.222	桐生川	H.W.L 120.630	
菱排水区	分流式 菱第6雨水幹線	28 30	菱町五丁目	4.418	桐生川	H.W.L 126.440	
菱排水区	分流式 菱第7雨水幹線	29 31	菱町五丁目	2.106	桐生川	H.W.L 138.180	
菱排水区	分流式 菱第8雨水幹線	30 32	菱町五丁目	1.786	桐生川	H.W.L 153.880	
梅田排水区	分流式 梅田第1雨水幹線	31 33	梅田町一丁目	2.425	桐生川	H.W.L 139.270	
梅田排水区	分流式 梅田第2雨水幹線	32 34	梅田町二丁目	3.209	桐生川	H.W.L 155.850	
梅田排水区	分流式 梅田第3雨水幹線	33 35	梅田町三丁目	1.191	桐生川	H.W.L 168.600	
梅田排水区	分流式 梅田第4雨水幹線	34 36	梅田町二丁目	1.075	桐生川	H.W.L 173.320	
梅田排水区	分流式 梅田第5雨水幹線	35 37	梅田町四丁目	1.102	桐生川	H.W.L 177.480	
梅田排水区	分流式 梅田第6雨水幹線	36 38	梅田町四丁目	2.036	桐生川	H.W.L 178.050	
梅田排水区	分流式 梅田第7雨水幹線	37 39	梅田町四丁目	1.714	桐生川	H.W.L 184.390	
梅田排水区	分流式 梅田第8雨水幹線	38 40	梅田町四丁目	1.280	桐生川	H.W.L 189.300	
梅田排水区	分流式 梅田第9雨水幹線	39 41	梅田町四丁目	1.223	桐生川	H.W.L 191.690	
梅田排水区	分流式 梅田第10雨水幹線	40 42	梅田町四丁目	1.994	桐生川	H.W.L 200.460	
梅田排水区	分流式 天神第1雨水幹線	41 43	天神町二丁目	4.553	一般河川	—	
梅田排水区	分流式 天神第2雨水幹線	42 44	天神町二丁目	1.968	桐生川	H.W.L 123.220	
梅田排水区	分流式 天神第3雨水幹線	43 45	梅田町一丁目	12.758	桐生川	H.W.L 129.540	

吐口調書において、放流先の水位は河川整備計画を参照している。表示が「—」の箇所については、放流先が小河川や普通河川であり、河川整備計画が策定されていない。今後、雨水管理総合計画を策定する予定であり、策定時に改めて計画高水位を設定する。また、樋管の目視・作動点検を年1回以上実施している。

(第4表の1)

管 渠 調 書 (合流式・分流式の汚水)				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 (箇所)	摘 要
境野処理区	○150～2000	49,534	9	圧送先点検方法： マンホールからの目視 又はテレビカメラ調査 伏越し点検方法： マンホールからの目視 又はテレビカメラ調査
	□2100×2100 ～□4600×2760	1,190	—	頻度：5年に1回以上
合計		50,724	9	

(第4表の2)

管 渠 調 書 (雨水)				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 (箇所)	摘 要
境野排水区	U 1100×1100 ～U 3200×3200	4,970	—	
	□1400×1400 ～□4500×2800	1,750	—	
梅田排水区	○1500	70	—	
	U 1000×1000 ～U 1600×1600	3,060	—	
	□1500×1000	90	—	
菱排水区	U 1100×1100 ～U 2200×2200	3,830	—	
細田排水区	U 1100×1100 ～U 2600×2600	3,470	—	
合計		17,240	—	

(第5表)

処 理 施 設 調 書								
処理施設の名称	位置	敷地面積 (単位ヘク) (タール)	計画 放流 水質	処理方法	処理能力		計画 処理人口	摘要
					晴天日最大 (単 位) (立法メートル)	雨天日最大 (単 位) (立法メートル)		
境野下水 処理場	桐生市 境野町 三丁目 地内	5.34	BOD 15 mg/ℓ	標準活性 汚泥法	92,000	277,653	39,391 37,507	計画下水量 29,300 26,900m <sup>3</sup> /日 流入予定水質 200 BOD160mg/ℓ 150 S S130mg/ℓ 計画放流水質 BOD 15 mg/ℓ S S 30 mg/ℓ

処 理 施 設 の 敷 地 内 の 主 要 な 施 設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘要
境 野 下 水 処 理 場	沈 砂 池	6池	鉄筋コンクリート造り 長方形池 合流沈砂池 巾1.5m×長さ8.0m×深0.72m×2池 巾2.6m×長さ8.0m×深0.92m×2池 分流沈砂池 巾1.2m×長さ8.0m×深0.25m×2池	水面積負荷 晴天時：1,568m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d 雨天時：3,879 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d  晴天時：1,228m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d	変更なし
	揚水ポンプ	11台	口径400mm×20.0m <sup>3</sup> /min×9.0m ×45kw×3台(内1台予備) 口径350mm×17.0m <sup>3</sup> /min×12.5m ×55kw×2台 口径600mm×45.0m <sup>3</sup> /min×12.5m ×140kw×3台(内1台予備) 口径300mm×9.1m <sup>3</sup> /min×18.0m ×55kw×3台(内1台予備)	Q=40m <sup>3</sup> /min 合流式 Q=34m <sup>3</sup> /min 合流式 Q=90m <sup>3</sup> /min 合流式 Q=18m <sup>3</sup> /min 分流式	〃
	最初沈殿地	12池	鉄筋コンクリート造り 合流最初沈殿地 放射流円形池 直径21.0m×深2.0m×2池 平行流長方形 巾10.0m×長さ31.0m×深3.2m×4池 分流最初沈殿地 平行流長方形 巾3.5m×深2.5m×6池×2段 ×長さ上段23.0m 下段29.0m(2階層)	合流式 晴天時：7,284m <sup>3</sup> /d 雨天時：231,764m <sup>3</sup> /d 水面積負荷 晴天時：21.0m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d 雨天時：119.9 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d  分流式 45,889m <sup>3</sup> /d 水面積負荷 42.0m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d	〃
	反応タンク	1室	鉄筋コンクリート造り 巾4.0m×長さ25.3m×4折×深3.0m ×2池 巾6.6m×長さ45.5m×3折×深6.0m ×4池	91,896m <sup>3</sup> /d  反応時間6.3hr	〃

処理施設の敷地内の主要な施設

処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
境界下水処理場	最終沈殿池	10 池	鉄筋コンクリート造り 放射流円形池 直径 21.0m×深 2.5m×2 池 平行流長方形 巾 10.0m×長さ 43.0m×深 3.0m ×8 池	91,896m <sup>3</sup> /d 水面積負荷 22.3m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・d	変更なし
	塩素接触タンク	1 池	鉄筋コンクリート造り 長方形多列迂回流式 巾 3.0m×長さ 258.3m×深 2.7m×1 池	91,896m <sup>3</sup> /d 接触時間：15 分以上	〃
	汚泥濃縮槽	5 槽	鉄筋コンクリート造り 円形放射流式 直径 10.0m×深さ 4.5m×1 槽 直径 10.0m×深さ 4.0m×4 槽	277,653m <sup>3</sup> /d 固形物量 25,456kg/d 固形物負荷 64.4kg/m <sup>3</sup> /d	〃
	機械濃縮機	2 台	機械式濃縮機 処理能力 20m <sup>3</sup> /時	固形物量 7,489kg/d 運転時間 23.4hr	〃
	汚泥熱処理設備	1 式	反応炉 15.0m <sup>3</sup> /hr 1 系列×3 系列 生汚泥貯留層 1 槽 熱処理汚泥濃縮槽 2 槽 熱処理分離液曝気槽 1 槽 曝気分離液沈殿池 1 槽	30m <sup>3</sup> /hr	〃
	汚泥脱水機	1 台 2 台	ろ過面積 120.0m <sup>3</sup> /台×1 台 スクルー径 約 φ700mm	固形物量 14,276kg/d 運転時間 19.2hr	〃
	汚泥焼却炉	1 基	階段炉 50t/d 1 基		〃
	建物	1 式	RC 造り 沈砂池ポンプ室棟、管理棟、 汚泥処理棟、電気棟、滅菌器棟		〃

(第6表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設 の名称	排水区の名称 建物	ポンプ施設 の位置	敷地面積 〔単位ヘク タール〕	1分間の揚水量 (単位：立方メートル)		摘要
				晴天日最大	雨天日最大	
菱 汚 水 中継ポンプ場	菱 排 水 区 菱 分 区	菱町三丁目	0.21	4.43	4.43	
細田汚水第1 中継ポンプ場	菱 排 水 区 細田第一分区	菱町一丁目	0.06	1.20	1.20	
細田汚水第2 中継ポンプ場	菱 排 水 区 細田第二分区	菱町一丁目	0.07	1.27	1.27	
細田汚水第3 中継ポンプ場	菱 排 水 区 細田第三分区	菱町一丁目	0.05	0.35	0.35	
丸 山 汚 水 中継ポンプ場	西 部 排 水 区	堤町三丁目	0.20	0.35	0.35	
浜 の 京 汚 水 中継ポンプ場	境 野 排 水 区	境野町七丁目	0.67	9.92	9.92	

処理施設の敷地内の主要な施設

ポンプ施設 の 名 称	主要な施設 の名称	数	構 造	能 力	摘要
菱 汚 水 中 継 ポンプ 場	沈 砂 池	2 池	長方形池 巾 1.2m×長さ 5.0m×深 0.21m	時間最大汚水量 0.097m <sup>3</sup> /sec	変更なし
	主 ポンプ	4 台	水中汚水ポンプ 口径 200mm	Q=3.5m <sup>3</sup> /min×4 台 (内 1 台予備)	〃
細 田 汚 水 第 1 中 継 ポンプ 場	主 ポンプ	1 棟	鉄筋コンクリート造り 55.39m <sup>2</sup> (延面積)	水中汚水ポンプ φ 150mm ×1.4m <sup>3</sup> /min×2 台 (内 1 台予備)	〃
細 田 汚 水 第 2 中 継 ポンプ 場	主 ポンプ	2 台	マンホールポンプ	水中汚水ポンプ φ 100mm ×1.4m <sup>3</sup> /min×2 台 (内 1 台予備)	〃
細 田 汚 水 第 3 中 継 ポンプ 場	沈 砂 池	1 池	長方形池 巾 1.0m×長さ 1.0m×深 0.14m	時間最大汚水量 0.022m <sup>3</sup> /sec	〃
	汚水ポンプ室	1 棟	水中汚水ポンプ 口径 150mm	Q=1.3m <sup>3</sup> /min×2 台 (内 1 台予備)	〃
丸 山 汚 水 中 継 ポンプ 場	沈 砂 池	1 池	長方形池 巾 2.0m×長さ 3.0m×深 0.08m	時間最大汚水量 0.020m <sup>3</sup> /sec	〃
	汚水ポンプ室	1 棟	横軸片吸込渦巻ポンプ φ 100mm	Q=1.2m <sup>3</sup> /min×2 台 (内 1 台予備)	〃
浜 の 京 汚 水 中 継 ポンプ 場	沈 砂 池	2 池	長方形池 巾 2.0m×長さ 7.0m×深 0.26m	時間最大汚水量 0.142m <sup>3</sup> /sec	〃
	主 ポンプ	3 台	立軸片吸込渦巻ポンプ 口径 300×250mm 12.0m <sup>3</sup> /min×37m×130kw ×3 台 (内 1 台予備)	Q=12.0m <sup>3</sup> /min ×3 台 (内 1 台予備)	〃

(様式1) 施設の設置に関する方針

主要な 施策	整備水準				重点化・効 率化の方針	中期目標を達 成するための 主要な事業	備考	
	指標等	現在 (令和3年度)	中期目標 (令和7年度)	長期目標 (令和22年度)				
汚水 処理	下水道 処理人口 普及率	82.8% (87,473人 /105,656人)	83.4% (82,469人 /98,884人)	85.2% (63,738人 /74,771人)	群馬県の汚水 処理計画に基 づく一体的な 汚水処理の構 成を目標とし、当該計画 処理区のみで なく他処理区 を含めた未整 備区域の普及 促進を図る。	当該計画処理 区である「境 野処理区」に おいては管渠 整備はほぼ概 成しているた め、「桐生処理 区」や他の汚 水処理方式と 一体的に考 え、効率的な 未普及促進事 業の推進を図 る。		
浸水 対策	都市 浸水 対策 達成 率	整備目標 (63.7 mm/hr) 5年確立	35.0% (859.80ha /2455.08ha)	35.4% (869.34ha /2455.08ha)	100% (2455.08ha /2455.08ha)	当該計画処理 区において浸 水実績はない が、「都市浸水 対策における 重要な排水 区」のなかで 道路冠水実績 のある被害の リスクの高い 箇所から優先 的に整備を行 う。	浸水対策事業	
合流式 下水道 の改善	合流式下水道 改善率	89.7% (対策済 26箇所/ 全29箇所)	100%	100%	第1期計画は 平成25年度 までに完了し ているが、第 2期計画とし て令和6年度 までに事業実 施する。	改善効果の確 認を継続す る。		
汚泥の 再生利 用	燃料又は肥料と して有効利用さ れた割合	100%	100%	100%	場外へ搬出 し、セメント 原料化を行 う。	再生利用事業 を継続する。		

主要な 施策	整備水準				重点化・効 率化の方針	中期目標を 達成するた めの主要な 事業	備考		
	指標等		現在 (令和3年度)	中期目標 (令和7年度)				長期目標 (令和22年度)	
耐水化	水 害 時 に お け る 機 能 確 保 率	処 理 場	揚水機能が 確保された 施設数 (沈砂池ポ ンプ棟): 2	対象外	—	—	—	桐生市 耐水化 計画に おいて、 浸水す るもの 浸水深 が浅く 土嚢設 置に 対し より 対 応 で き る た め 対 象 外。	
			沈殿機能が 確保された 水処理系 列数 (水処理 棟): 2	対象外	—	—			
			汚泥処理機 能が確保さ れた施設数 (機械棟、 熱処理施 設): 2	対象外	—	—			
		ポン プ 場 (汚 水)	揚水機能が 確保された 施設数 (沈砂池ポ ンプ棟): 2	0% (0)	50% (1)	100% (2)	5年程度で 沈砂池ポン プ棟の揚水 機能を確保 する。	防水板、防 水シート、 開口閉塞、 耐水用鋼板 蓋、防水壁 止水板の設 置	
耐震化	災 害 時 に お け る 機 能 確 保 率		重要な幹線	34%	34%	100%	優先的に境 野下水処理 場や汚水中 継ポンプ場 の耐震化を 図るととも に、応急復 旧用資機材 や自家発電 燃料の備蓄 を進め、災 害時に必要 な下水道処 理機能の確 保を進め る。	管更生工事	
			下水処理場	0%	0%	100%		改築更新工 事 耐震化工事	
			ポンプ場	0% (0/6)	16.7% (1/6)	100% (6/6)		耐震化工事	

(様式2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な設備に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	腐食の恐れが大きい主要な管路施設の管渠、マンホール（蓋を含む）を対象に、5年に一度、目視点検及び管口カメラによる点検を実施する。また、状態監視保全に位置付けた管路施設を対象に、30年に一度TVカメラ等による調査を実施する。
汚水ポンプ（ポンプ本体）	予防保全対策施設のうち、機械設備は状態監視保全、電気設備は時間計画保全とし、目視・聴覚による日常点検や定期点検、法定点検を実施し、状況により臨時点検を実施する。また、ストックマネジメント全体計画期間（30年）における改築時期に合わせて調査を実施する。
水処理施設（送風機本体）	ストックマネジメント全体計画期間（30年）における改築時期に合わせて改築を検討する。
汚泥処理施設（汚泥脱水機）	同上

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	管路劣化傾向や社会的要因を考慮し、緊急度の高い箇所（Ⅰ・Ⅱ）を重点的に改築対象とする。
汚水ポンプ（ポンプ本体）	施設停止の影響度や、不具合、故障の発生確率により優先順位を決定し、改築を実施する。
水処理施設（送風機本体）	ストックマネジメント全体計画期間（30年）における改築時期に合わせて改築を検討する。
汚泥処理施設（汚泥脱水機）	同上

iii) 改築事業の概要（令和6年度～令和7年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	該当なし
汚水ポンプ（ポンプ本体）	浜の京汚水中継ポンプ場 汚水ポンプ（揚水量：12.0m <sup>3</sup> /分×3台）
水処理施設（送風機本体）	該当なし
汚泥処理施設（汚泥脱水機）	同上

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
<p>【管路】 年当たり概ね 5.7 億円</p> <p>【ポンプ場】 年当たり概ね 1.2 億円</p> <p>【処理場】 年当たり概ね 6.6 億円</p>	<p>【管路】 45 年間 (R9～R53)</p> <p>【ポンプ場】 20 年間 (R5～R24)</p> <p>【処理場】 26 年間 (R5～R30)</p>	<p>【管路】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改築更新の開始時期を汚水処理施設整備が概成となる R9 以降とする。</li> <li>管路劣化傾向や社会的要因などを考慮し、最終整備年は、ストックマネジメント全体計画策定年度 (R3) から 50 年後の R53 で設定し、年次経費が一律となるよう平準化を行う。</li> </ul> <p>【ポンプ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標耐用年数を標準耐用年数の 1.7 倍に設定。</li> </ul> <p>【処理場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標耐用年数を標準耐用年数の 1.7 倍に設定。</li> </ul>

(様式3)

財政計画書

(単位：百万円)

年次	イ. 経費の部									
	建設費					起債 償還費	維持 管理費	流域 下水道 分担金	その他	合計
	管渠	ポンプ 場	処理場	計	うち 用地費					
昭和34年度 ～ 令和4年度	18,595 20,878	1,457 1,458	17,349 17,259	37,401 39,595	680 680	29,965 33,557	33,008 28,907	0 0	0 0	100,374 102,059
令和5年度	16 9	36 26	418 77	470 112	0 0	213 508	795 565	0 0	0 0	1,478 1,185
令和6年度	41	164	28	233	0	471	565	0	0	1,269
令和7年度	9	221	336	566	0	421	656	0	0	1,552
小計	16 59	36 411	418 441	470 911	0 0	213 1,400	795 1,695	0 0	0 0	1,478 4,006
計	18,611 20,937	1,493 1,869	17,767 17,700	37,871 40,506	680 680	30,178 34,957	33,803 30,602	0 0	0 0	101,852 106,065

(単位：百万円)

年次	ロ. 財 源 の 部										
	建設費						維持管理費及び起債償還費				合計
	国費	起債	市費	受益者負担金	その他	計	使用料	市費	その他	計	
昭和34年度 ～ 令和4年度	12,593 13,692	17,217 17,820	5,620 6,117	1,777 1,894	2 72	37,209 39,595	23,637 21,544	37,905 39,088	1,623 1,832	63,165 62,464	100,374 102,059
令和5年度	235 51	240 3	0 49	1 9	0 0	476 112	726 790	276 233	0 50	1,002 1,073	1,478 1,185
令和6年度	96	118	10	9	0	233	780	217	39	1,036	1,269
令和7年度	279	278	0	9	0	566	770	195	21	986	1,552
小計	235 426	240 399	0 59	1 27	0 0	476 911	726 2,340	276 645	0 110	1,002 3,095	1,478 4,006
計	12,828 14,118	17,457 18,219	5,620 6,176	1,778 1,921	2 72	37,685 40,506	24,363 23,884	38,181 39,733	1,623 1,942	64,167 65,559	101,852 106,065
下水道使用料 ※関連事項	接続率：96.7%（令和3年度） →96.7%（令和7年度：最終年度）										
	講じる対策：未接続家屋へのPR活動 水洗化率は近年の人口減少に合わせ横ばいであるが、職員による戸別訪問やはがきによる啓発活動、工事説明会、広報・ホームページを通じたPRを行い促進を図るとともに、ほぼ概成となっている本処理区においても投資効果を見極め、効率的な整備を図る。										
	有収率：58.4%（令和3年度） →58.4%（令和7年度：最終年度）										
	講じる対策：漏水箇所の点検調査等による早期発見 有収率の向上及び効果的な改築事業を行う。										
その他の講じる対策 平成29年10月から令和2年4月にかけて、段階的な下水道使用料の改定を行っており、今後も概ね5年ごとに使用料の見直し検討を実施し、健全な下水道事業の運営を行うべく方針立てている。											